

昭和四十年十二月十五日招集(才号)
第四回市議会定例会會議錄

館山市議会第四回定例会会議録(第一号)

昭和四十年十二月招集

二十二月十五日(水曜日)

現在議員三十四名でその氏名次のとおり

一番	吉田 勇治郎	二番	鈴木 正一郎
三番	小柴 孝	四番	館石 伝蔵
五番	田中 祿郎	六番	秋山 大三郎
七番	田村 源治郎	八番	望月 照正
九番	安西 益男	一〇番	辻田 実
二番	石井 正	一三番	菊井 敏博
一四番	志村 信作	一五番	小沢 恵太郎
一六番	関 武夫	一七番	黒川 佐太郎
一八番	西村 真次	一九番	藤田 好治
二〇番	保科 忠夫	二一番	江田 徳太郎

二二番 君塚喜三

二三番 中村省吾

二四番 島野茂樹郎

二五番 萩生田七郎

二七番 嶋田繁

二八番 山田教宇

二九番 鈴木市蔵

三〇番 安藤亀吉

三一番 安沢徳順

三二番 三沢節

三三番 高橋文治

三四番 山本昇

三五番 松本藤太郎

三大番 山口康

一 議事日程(第一号)

議案第七十号 昭和三十九年度館山市一般会計歳入歳出決算

の認定について

議案第七十一号 昭和三十九年度館山市公益質屋特別会計歳入

歳出決算の認定について

議案第七十二号 昭和三十九年度館山市国民健康保険特別会計歳

入歳出決算の認定について

議案第七十三号

昭和三十九年度館山市と畜場特別会計歳入歳出
決算の認定について

議案第七十四号

昭和三十九年度館山市簡易水道事業特別会
計歳入歳出決算の認定について

議案第七十五号

昭和三十九年度館山市休養施設特別会計歳入
歳出決算の認定について

議案第七十六号

昭和三十九年度館山市ユース・ホステル特別会計
歳入歳出決算の認定について

議案第七十七号

昭和三十九年度館山市下水道事業特別会計歳
入歳出決算の認定について

議案第七十八号

あらたに生じた土地の確認について

議案第七十九号

あらたに生じた土地を市区域内に編入するこ
とについて

議案第八十号

館山市と畜場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第八十一号

館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第八十二号

館山市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

議案第八十三号

昭和四十年十二月に支給する期末手当の特例に関する条例の制定について

議案第八十四号

昭和四十年年度館山市一般会計補正予算

議案第八十五号

昭和四十年年度館山市国民健康保険特別会計

補正予算

議案第八十六号

昭和四十年年度館山市と畜場特別会計補正

予算

議案第八十七号

昭和四十年年度館山市休養施設特別会計補正予算

下按第百三十一條による出席説明員

市	市長	本間 讓
助	役	小出 武男
収	入 役	完 戸 貴
秘	書 課長	小倉 登男
企	画 課長	谷 貝 茂生
庶	務 課長	山 口 実
財	政 課長	長谷川 広治
市	民 課長	羽 山 房雄
調	査 課長	高 木 哲三
収	納 課長	多 田 俊一
商	工 観 光 課長	小 沢 正 治
農	林 水 産 課長	伊 藤 幸太郎
土	木 課長	新 井 重 助

建築課長補佐

池田春雄

衛生施設課長

吉田耕一

保健衛生課長

池田亮山

福祉事務所長

鶴沢貫寛

教 育 長

押本祐逸

教育委員会
庶務課長

干場伊右門

同
学校教育課長

山根春夫

同
社会教育課長

利田正男

消防本部次長

岩田実

選挙管理委員会
書記長

大嶋重義

監査委員事務長

館石勘治

農業委員会事務長

山口太一

診療所事務長

平柳徳藏

一本議會の事務局長、局長補佐、書記

事務局 局長

高梨清一

事務局 長補佐

太田博雄

書記

兵藤恭一

同

錦織睦子

出席議員 三十三名

欠席議員 一名

午前十時十五分 開議

。議長（田中祿郎君）

本日の出席議員数 三十二名

これより第四回市議会定例会を開会いたします。

本定例会の議案審査のための地方自治法第百二十九条の規定による出席要求に対し、本間市長をはじめ小出助役・完戸収入役・新井課長・伊藤課長・羽山課長・高木課長・多田課長・鶴沢所長・谷貝課長・小沢課長・小倉課長・山口課長・長谷川課長・吉田課長・池田課長・大嶋書記長・館石局長・山口局長・平柳事務長・岩田署長・池田主事・押本教育長・山根課長・干場課長・利田課長以上の者が出席する旨の報告がありました。御報告申し上げます。監査委員より送付のありました九月・十月・十一月実施の例月検査の結果が報告されております。それぞれ配付の印刷により御了承願います。

議案を配付いたしてしまつた。

配付漏れはございせんか——配付漏れなしと認めます。
会議録署名員の決定を行ないます。本定例会の会議
録署名員に二番議員鈴木正一郎君、三番議員山口
康君、以上両君を指名いたします。
これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

・議長(田中祿郎君)

異議なしと認めます。よつて決定いたしました。
会期の決定を行ないます。本定例会の会期につき
議會運営協議会の意見は本日から十二月二十日
までの六日間ということですが、おはかりいたします。
会期を本日より十二月二十日までの六日間と定めま
すことに御異議ありませんか。

「異議なし」と呼ぶ者あり

議長（田中禄郎君）

異議なしと認めます。よつて、開会期は六日間と決定いたしました。この際御告申し上げます。

本市議會議員鈴木孝君には十月十六日以来医師会病院において闘病生活を送られておりましたが、遂に去る十二月一日午前五時五十八分逝去されました。ここにつづいで哀悼の誠をささげ、つづいで御報告申し上げます。このことにつきまして、議員団幹事長松本藤太郎君より発言を求められております。暫時これを許します。松本藤太郎君、御登壇願います。

（三五番議員登壇）

・三五番（松本藤太郎君）

私たち議會議員として同僚でありました鈴木孝君の御逝去に対してつういで哀悼の意を表します。かえりみますれば氏は大正十五年消防団入団を振り出した昭和三十年四月衆望をになわれ館山市議會議員となり競輪議員・消防委員を始めとし各種委員並びに委員長等の要職を経られます。すす十年議員としての円熟味を加え全力を市勢発展のためにささげられその抱負経綸はまことに遠大なものがありました。鈴木君は資性温厚にして謹直かつ情誼に厚く私たち同僚の者は申すまでもなく常に多くの人々から敬慕せられて参つたのであります。他面ことに当っては厳正で率先・陳頭に立つて難局に対処し、全力を傾倒して職に殉ぜられたのであります。

君のいま一度の御再起を心から祈念いたしたのであります。が御家庭の手厚い看護と私たちの切なる願いもむなしく遂に永眠なされました。この悲しみは筆者にも尽しがたく人の世の定めとは申しながらその逝去があまりにも早かつたことは驚愕痛惜言葉もございませぬ。しかしながらひるがえって思えば鈴木君には、そぞ生がいのある人生を送られたものということができましよう。私たち残されたものといたしましてはかけがえのない大事な方を失いたただあぜんとしておるのみでございます。いよいよ議会活動も軌道にのり、建設委員長として数々の大事業遂行途上にあつて君の卓越した識見にまつべきものがあると惜みてもありません。あるものといわねばなりません。

幸日頃、君があの厚い外套を着、飛行帽をかぶつて

登庁なされたあの元気なお姿も今はなく君の議席であつた二六番は空席となつてしまつたのであります。

今君の議席に花束をささげ館山市議会を代表し、こに鈴木耕君孝君の生前の功績をたたえ、その風格をしのび心から御冥福をお祈りいたしまして追悼の言葉といたします。昭和四十年十二月十五日館山

市議会代表 松本藤太郎

議長（田中禄郎君）

以上で松本議員による追悼の言葉を終ります。この際故鈴木孝君の霊につづいで黙禱をささげた

いと思ひます。

御起立願ひます。

黙禱始め

（全員起立黙禱）

・議長（田中祿郎君）

黙禱終り

暫時休憩いたします。

午前 十時二十三分

休憩

午後 一時三十五分

再開

・議長（田中祿郎君）

午後の出席議員数 三十二名

休憩前に引き続き会議を開きます。

この際申し上げます。

鈴木孝君の逝去により建設常任委員会委員長が欠員となりましたので同委員会において互選の結果委員長に望月照正君、副委員長に中村省吾君以上の通り決定されましたので報告いたします。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行ない

ます。日程第一議案第七十号乃至議案第八十七号を一括して議題といたします。

この際申し上げます。

ただ今議題となりました議案第七十号乃至第八十七号の各議案は本日はこれが内容説明のみといただきたいと思ひます。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

。議長(田中祿郎君)

異議なしと認めます。よつて決定いたしました。これより市長の説明を求めます。

。市長(本間穰君)

ごあいさつ申し上げます。

本日本年最經の定例市議會を招集いたしました。議

員各位には師走のあわただしい中を御参集をわづら
わし恐縮に存ずる次第でございます。

さて本日上程いたします付議事件は一般議案関係で
上程いたしますものとして認定関係では昭和三十九年
度館山市一般会計ほか特別会計七に及ぶ歳入歳出決
算の認定でございますがこれらは地方自治法第二百三
十三条第三項の規定に基きまして議会の認定に付す
ものであります。条例関係の議案といたしましては
館山市と畜場の設置及び管理に関する条例館山
市青年館の設置及び管理に関する条例館山市
印鑑条例等の一部改正及び十二月に支給する期末
手当の特別の判定があります。これらは関係法令
等に準拠して市条例を制定または一部改正をしよう
とするものであります。

次に千葉県共同実習所の敷地として現在使用して
 いる公有水面埋め立て地一万百八十平方メートルの土
 地を~~確認~~確認してその土地を大字館山字西大浜に編入
 しようというものであります。

次に予算関係議案といたしまして一般会計ほか
 三特別会計の補正予算をお願いする次第でございます
 すが一般会計におきまして補正いたしますおむなものと
 して総務費におきまして百七十九万九千円余、これは表彰条
 例に基く報償費八十万円、交通安葬金自動制御器設
 置費五十八万一千円、那古駐在所改築寄付金四十万
 円がおむなものであります。民生費に千三百八十余円、こ
 のおむなものは生活保護費改定に伴う千三百七十四万
 円がおむなものであります。次に衛生費におきまして百四十万
 三千円、農林水産費におきまして三百七十四万八千円

このおもなものは漁港合併推進委員会補助金九十
万、農業構造改善事業補助百二十万四千円等がおもな
ものであります。

次に商工費におりて四十九万五千円、土木費におりて五
十四万九千円を減額し百四十二万九千円余で元長須賀
避病舎に通ずる市道百九十七号線工事に充たしよう
というものでございます。

なお地方債の五百万円につきまゝでは内定のあつた土木
債として予算に合せて追加の決議をお願いし
ようというものであります。

その他特別会計としまして国民健康保険関係で
三十八万七千円と畜場関係で五十五万五千円、休養施
設関係で二十二万六千円をそれぞれ追加変更の決議を
お願いしようというものであります。

なお追加議案として、農林漁業金融公庫の
ら中央土地改良区が引き受けた一般会計補正予
算を上程いたしますのでよろしくお願い申し上げます。
以上議案につきまして、はきわめて簡単に申し上げま
したが、各議案につきまして、は上程の都度関係課長よ
り詳細に説明申し上げますので、どうぞ慎重審
議の上、御賛同たまわりますよう、切にお願い申し
上げる次第でございます。

議長（田中祿郎君）
順次説明を求めます。

（市長登壇）

市長（本間讓君）
決算認定につきまして御説明申し上げます。

昭和三十九年度館山市一般会計ほか七特別会計

にわたる歳入歳出決算の認定につきまして御審議をわすらわずでございますが本決算の認定につきましては地方自治法第二百三十三条第三項の規定によりまして別紙監査委員の意見を付し議会の認定に付するわけでございます。

かえりみまするに昭和三十九年度は一般に地方自治体の傾向として財政の伸び悩みによる鈍化が目立ち人件費の増加物価高騰の中で本市は真剣に行政機構の改革と事務改善の推進に取り組んだ年であります。市民の福祉増進のために経済性合理的に財源の確保に努め地方自治の本旨を全うすべく最少の経費で最上の効果を上げるように努めて参りました。幸いにこの結果保険給付率の改定に基因しました国保会計の五百六十四万一千円の赤字のほか一般会計で三百

八十四万三千円、休養施設会計百三十万二千円、上水道
会計七十二万一千円、ユースホテル会計三十九万二千円等繰
り越し金をみ決算を遂げることができました。

非常な成果にござります。では本決算より、地方自治法の
改正や決算様式も改まりました。が地方自治法施行
第六十六条の規定によります。歳入歳出事項別明
細書、実質収入書により、御了承たまわりたいと存じ
ます。なにとぞ慎重に御審議のほどを切望する次第
であります。以上でござります。

・議長（田中祿郎君）

議案第七十八号の説明を願います。

・庶務課長（山口実君）

議案第七十八号及び七十九号につき御説明申し
上げます。

本案の提出理由でございますが去る九月十六日付で
もつて千葉県教育委員会より館山市区域内におけ
る公有水面埋め立て工事の竣工工事として新たに生じ
た土地の確認と字の編入依頼が参つたので今回提案
したであります。図面の中央にあります斜線のところが
今回埋め立て地でございましてその面積が二万百八十
四十二平方メートル坪数に換算いたしまして三千
九十七坪でございます。これらの土地を新たに生じた
土地といたしまして今回議会の議を経ようという
ものでございます。

次に議案第七十九号でございしますがこの図表の上欄
でございしますが新たに生じた土地二万百八十・四十二平
方メートルに隣接する小字及び砂地の状態をいつた
ものでございます。

下の欄でございますが新たに生じた土地を大字館山字西大浜に編入しようというものでございます。さらにこの土地の管理といたしましては千葉県水産共同実習所という名称のもとに水産学校の校長が管理することになっております。以上です。

・議長（田中祿郎君）

議案第八十号の説明を願います。

・衛生施設課長（吉田耕一君）

議案第八十号につきましては御説明いたします。今回のと畜場の設置及び管理に関する条例の一部改正でございますが別表中のと畜場の使用料の料金の改正をいたしたい。このように考へるわけでございます。従来でございます別表の各一頭におきまして牛豚馬とくわん羊やぶというようなものをこのよ

うに改正いたしたいと思うわけでございます。

十一月二日に県のと畜場協会というのがございまして
本市も加入いたしました。そしてその総会におきまして県
下全組合にこの改定を実施しようという決議の
もとに県等との折衝となりましてその認可が参
ったわけでございます。従いましてその認可に基きま
した額が今回改定しようという額でございますが、館
山市の場合申し上げますと従来牛の四百円とい
うのは解体料等は含まれておらなかったわけでござ
います。場所の使用料として牛が四百円というの
うな料金のみを取っておったわけでございますが、個
々の食肉組合によりまして自分たちが手伝って三
人の解体夫を雇い上げてやって館山市のと
畜場を使用していたというふうな片寄った経営を

していただくまいしてそれを詰合ひまゐりて
 全部市で解体までをやるといふような考へ方か
 らこの単価をお願いしようといふわけでございます
 て一応従来やつておりました解体者あるいは助
 手というようなものを五名をそのまゝ市の臨時雇
 いとして雇つてそうして二千五百円の場合を申し
 上げますとこれから解体料等を支払ひをいたし
 ましてなお毎日でございますんで週二回でござい
 ますので出たとまだけの賃金によりまゐてこの収
 入の中から支払つていくといふふうな正当な方法に
 と持つて参りたい。このように考へるわけでもござい
 ます。なお県下を畜場経営団体におきまゐても
 一月一日からこの事業を実施しようといふふうな考
 え方で今同上程したわけでございます。

なおこの料金の許可になる前提としてと畜場の施設整備を実施するということのような前提におきまして各と畜場ごとにこのような単位に改正しようというものでございまして館山市として条例を改正いたしまして一月一日から新しい料金に改定いたしたと考えまして上程した次第でござい
ます。以上でございします。

議長（田中祿郎君）

議案第八十一号の題名説明を願います。

福祉事務所長（鶴沢貫寛君）

議案第八十一号について御説明申し上げます。

館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部改正でございしますが今回新たにさざ夜青年館・竹原青年館の二館を追加するものであります。

す。従来上須加古茂口青年館がございまして、
 れで四館になるわけでございます。さぞ波青年館
 は針上工務店が百二十五万円でたゞいま建築中で
 ございます。竹原青年館は荒井建設が百二十五万
 円で同じく建築中のものでございます。

・市民課長（羽山房雄君）

議案第百八十二号について御説明いたします。
 館山市印鑑条例の一部改正でございすがたゞ
 いままで第二条におきまして「館山市の住民票に記載
 された者。または外国人登録原票に記載されて
 いる者や印鑑の届出をしようとする者は届出書に印
 鑑紙（別記第一号様式）をそえて市長に差し出さ
 なければならぬ。」とありましたのを「市内に居住
 し住民登録法（昭和二十六年法律第二百十八号）に

たは外国人登録法（昭和二十七年法律第百二十五号）により登録をしようとする者は市長に届出しなければならぬ。このように字句の改正をいたすことによりまして現状に即した取り扱いをいたしたいと考えて提案した次第でございます。

第九条あるいは第十三条さういふ点につきましては九条の届出の様式を条例からはずして規則に委任します関係で順次繰り上げて改正しようとする次第であります。よろしくお願いいたします。

・秘書課長（小倉登男君）

議案第八十三号につきまして御説明申し上げます。本条例は先般来市職員組合等より年末手当につきまして増額要求が出ておりましたのでございすが交渉の結果妥結をしまして、館山市の給与

条例におきまする期末手当に三割勤勉手当三割計二十四割に対する増額分としまして三割の増額を三に特例としまして提案をした次第であります。本条例はあくまでも二十四割に対する増額分を特に支給するのだという特例の条例を提案した次第であります。その目的を第一条にうたいまして第二条に一般職員の期末手当におきまする三割の増額さらに第三条におきまして特別職の議員の方々もこれにならうとして三割増額というものが第三条でござります。第四条には三役・その他の特別職・教育長の職員の増額をともに提案した次第であります。よろしくお願いいたします。

・財政課長（長谷川広治君）

議案第八十四号の一般会計補正予算第三号に

つて御説明申し上げます。今回二千百四十九万二千円の追加をいたしまして歳入歳出予算総額を七億七千七百七十九万六千円というふうに予定いたしました次第であります。今回の追加予算の主流は生活保護費及び児童措置費、老人福祉関係の費用一千万余を基流にいたしまして国庫補助、県補助の補助額決定を加えまして編成いたしました次第であります。なお内容といたしましては補正額も入っておりますので純追加額が二千九百四十五万六千円ということに相なっております。現予算の補助額が八百四十九万七千引きまして純増加額が二千百四十九万二千円というふうに相なります。財源関係では特定財源二千二十九万六千円がございしますので不足財源百二十万円を繰り越し額の中から計上いたしました。歳

入歳出を調整いたした次第でございます。

事項別明細書の八頁歳出から御説明申し上げます。議会費として今回七十三万二千円追加いたしました。内容は節にある通りでございますので省略させていただきます。札幌九頁財産管理費として四十八万二千円内容といたしますと、財政調整積立金といたしまして、当初取りくずし予定しておりましたものを現在取りくずしぬいたしませんので、それを財政調整基金に繰り入れるということで三十四万七千円を計上いたしました。役務費として十万円、これは現在までのところ、三月一ぱいの電話料の不足額を追加いたしました。使用料として三万五千円土地借上料、これは館山郵便局の敷地の賃貸契約が更新されましたが、いろいろ折衝の結果、不足額が三万五千円生ずるので追加いた

した次第であります。

・秘書課長（小倉澄男君）

八頁の総務費八節報償費に八十万の追加でございますがこれは先般御承認いただきました表彰条例に基きまして表彰をいたしますときにその記念といたしまして差し上げるものをいろいろ考慮中でございますが結局銀盃を差し上げることと決定をしましてその単価が約二千五百円位ということで一応三百個注文をいたすというような予定で七十五万円それにあといろいろ五万円を諸雑費と考へて八十万をお願いした次第であります。それから十三の委託料これは年末調整に当りまして今まで損害保険の控除が認めておらなかったものでございますがこの額が今回認められるということではバロス会計機にかけまする機械を訂正した

すために一万円計上した次第であります。

それから二十六節寄付金のところに那古巡査駐在所改築寄付金でございすが、これはこのたび那古地区の駐在所を敷地等の問題から移転しなければならぬというようなことで百二十万の総予算を持ちまして移転新築計画を立てておるのだそうでございするが、地元治安の確保ということで応分の援助をお願いしたいという話がございまして、果から八十万円の支出の予定し地元として四十万計上をお願いした次第でございす。それから人件費関係でございすが、人件費関係は各款にわたっておりすもので十九頁の補正予算給子費明細書というものがございすが、これは先ほど申し上げました期末手当の三割分の増額によりまして総額約三千三百万円の手当が支

出される予定であつたのでございすがただいまのところ
三月に支給されます手当がまだ残っておりますので現
在ここでいたずらに予算をいじるといふことは避けた方がよ
うしいという財政課の指導もありましたので現在あると
ころに手を付けなうでただ人件費が各款にわたってお
りますので多少人事動といふようなことによりまして
当初予想いたしましたものよりも増減がありまして分
をここに削つたりということが百六十五万五千円ということ
でございまして補正後の総額が二億九百三十一万
二千円ということになります。

・調査課長（高木哲三君）

徴税費の負担金補助及び交付金に付て御説明
申し上げます。今まで農業所得の標準は国でやつて
おりましたが今度市町村で作ることになります。

の基準作成の協議会が安房郡でございまして、その
四十年度の負担金といたしまして、三万五千円均等
割で五〇％、実績割で三〇％、人口割で二〇％、三万四
千九百九十円でございます。で三万五千円お願ひする
わけでございます。

・市民課長（羽山房雄）

十頁の戸籍住民登録費の御説明を申し上げま
す。通信運搬費におきまして三万二千円ほど不足を
生じましたので計上いたしました。
備品費におきまして五千円更正いたしました。その
財源に充てた次第でございます。二万七千円の補
正をお願いする次第であります。

本日の会議に付いた事件

一 開会

一 議長報告(出席説明者)

一 会議録署名員決定

一 会期決定

一 追悼演説

一 議案第七十号乃至議案第八十七号 内容説明

出席議員

吉田 勇治郎

鈴木 正一郎

小柴 孝

館石 伝藏

田中 祿郎

秋山 大三郎

田村 源治郎

望月 照正

安西 益男

辻田 実

石井 正

志村 信次

小次惠太郎

関 武夫

黒川佐太郎

西村真次

藤田好治

保科忠夫

江田徳太郎

君塚喜三

中村省吾

島野茂樹郎

萩生田七郎

嶋田 繁

山田教宇

鈴木市蔵

安藤亀吉

安次徳順

三沢 節

高橋文治

山本 昇

松本藤太郎

山口 康

次席議員

菊井敏博

